

中・高校生の卒業後の進路

ーはじめにー

文部科学省所管の平成 14 年度学校基本調査（指定統計第 13 号）の集計結果のうち、名古屋市内に在学する中・高校生の「卒業後の状況調査」について、その概要を紹介します。

この調査は、平成 13 年度卒業者（平成 14 年 3 月に中学校、高等学校を卒業した者）の卒業後の状況を平成 14 年 5 月 1 日現在で調査したものです。名古屋市の学校の現況については、前月号（統計なごや 2002 年 10 月号）に掲載

しています。

また、ここで掲げた数字は、愛知県企画振興部統計課で集計した速報値であり、後に文部科学省が公表する確定値と異なる場合があります。

なお、統計表中の「ー」は該当値のないもの、「0.0」は表章単位に満たないものを表します。構成比等の内訳数値は、表章単位未満を四捨五入しているため、その合計は総数と必ずしも一致しません。

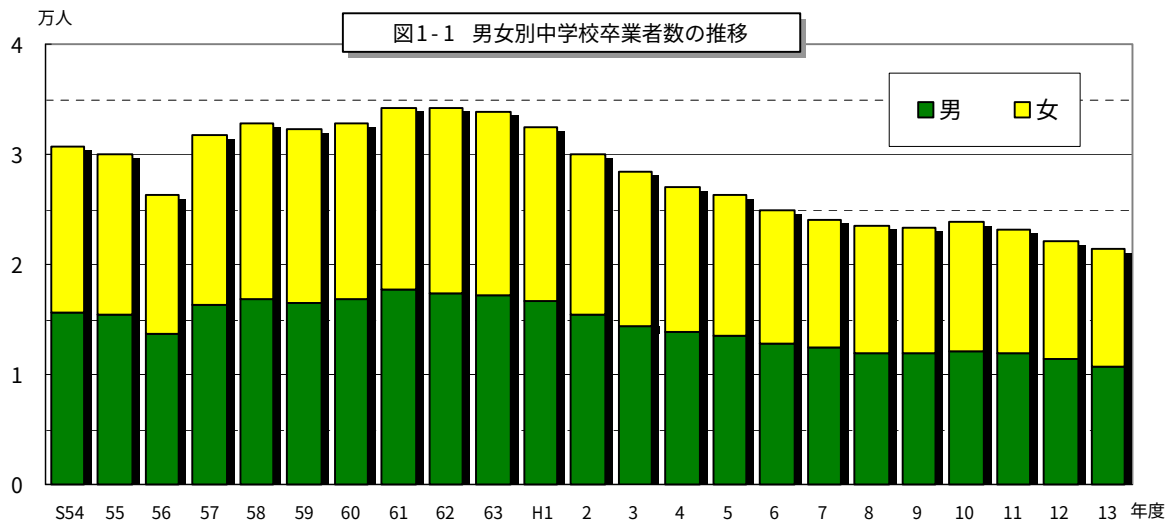
I-1 中学校卒業者数は昨年度比で 765 人減少

平成 13 年度に名古屋市内の中学校を卒業した者は 21,394 人で、昨年度と比べ 765 人、3.5%減少している。中学校卒業者は、昭和 61 年度の 34,285 人をピークに減少する傾向にあり、平成 10 年度には対前年度比 1.9%の増加をしたものの、その後再び減少し続け、本年度はピーク時の 62.4%の規模となっている。

卒業者を男女別にみると、男子が 10,777 人で昨年度より 546 人、4.8%減少し、女子が 10,617 人で同じく 219 人、2.0%減少している。 [附表 1-1、図 1-1、第 1 表]

附表 1-1 中学校卒業者数の推移

年 度	総 数	男	女
昭和 54 年	30,691	15,648	15,043
55	29,926	15,411	14,515
56	26,359	13,619	12,740
57	31,798	16,242	15,556
58	32,793	16,823	15,970
59	32,209	16,568	15,641
60	32,845	16,853	15,992
61	34,285	17,652	16,633
62	34,269	17,441	16,828
63	33,813	17,270	16,543
平成 元 年	32,393	16,679	15,714
2	29,988	15,357	14,631
3	28,377	14,401	13,976
4	26,993	13,796	13,197
5	26,363	13,547	12,816
6	24,936	12,737	12,199
7	24,094	12,430	11,664
8	23,530	11,996	11,534
9	23,335	11,846	11,489
10	23,789	12,189	11,600
11	23,105	11,872	11,233
12	22,159	11,323	10,836
13	21,394	10,777	10,617



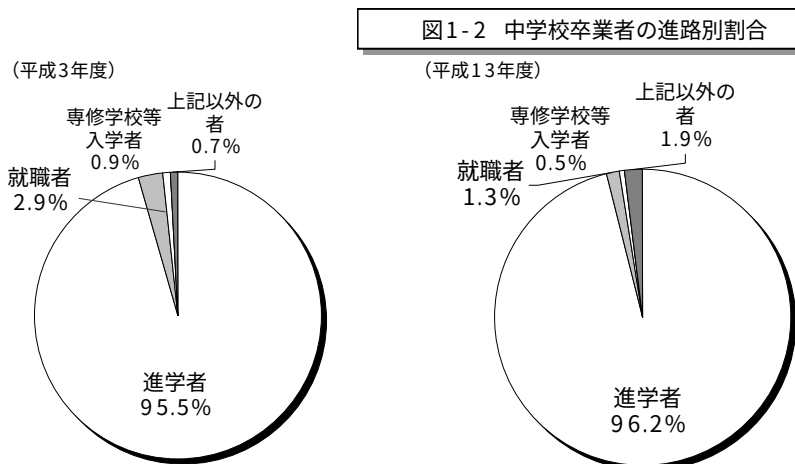
次に卒業者を進路別にみると、高等学校等への進学者が20,584人（構成比96.2%）で最も多く、就職者（就職進学者及び専修学校等入学者のうちの就職者は除く）が288人（同1.3%）、専修学校等入学者（就職者を含む）が104人（同0.5%）、死亡・不詳が1人（同0.0%）、上記以外の者が417人（同1.9%）となっている。

卒業後の進路について10年前と比較すると、進学者の割合は平成3年度の95.5%から平成

13年度の96.2%へと0.7ポイント増加する一方、就職者の割合は2.9%から1.3%へ減少している。また、上記以外の者の割合は0.7%から1.9%へと増加している。

ここ10年間で特徴的なことは、就職者の割合が平成7年度を除いて減少し続けていることと、上記以外の者の増加傾向が、平成11年度をピークに平成12年度では減少し、今回の調査でも横ばいのままであったことがあげられる。

[図1-2]

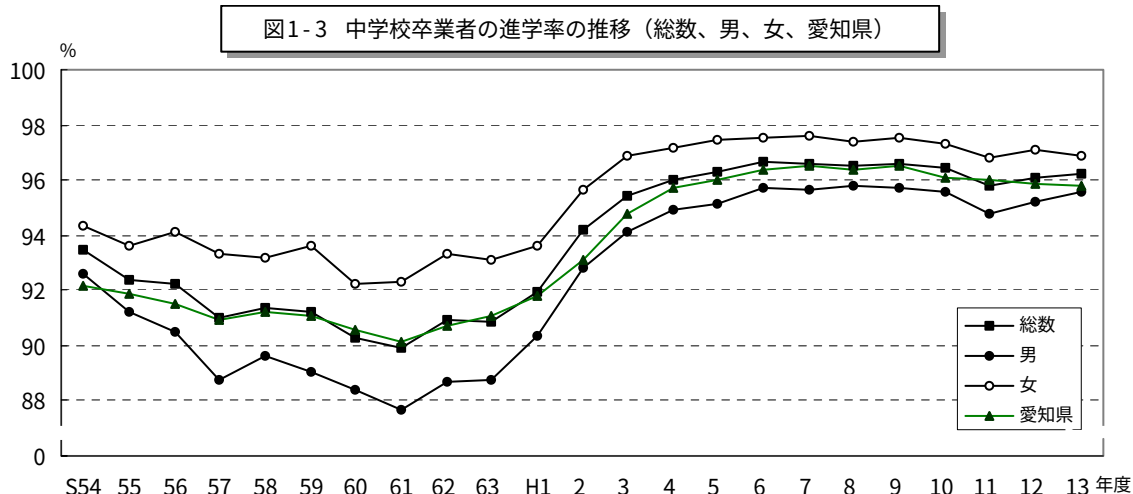


※ 上記以外の者とは、卒業者のうち進学者、就職者、専修学校等入学者及び死亡・不詳を除いた者のことで家事手伝い、留学生等をいう。

1-2 進学入学状況 — 進学率は2年連続して上昇

卒業者総数に対する進学者の割合（進学率）は、96.2%で前年度比0.1ポイント増となり、2年連続して増加した。男女別では男子95.6%、女子96.9%で昨年度の進学率の男女較差は1.9ポイントから1.3ポイントに縮小した。

参考までに愛知県では進学率が95.8%で同0.1ポイントの低下、男女別では男子が95.0%で女子が96.6%となっている。全国では進学率が97.0%で同0.1ポイント増、男女別では男子が96.5%、女子が97.5%となっている。



進学先別では、「高等学校本科」が総数の99.4％で大部分を占めている。

[図1-3、附表1-2、1-3、第1表]

附表1-3 進学先別進学者数（H13年度中学校卒業生）

区 分	実 数			構 成 比（％）		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総数	20,584	10,299	10,285	100.0	100.0	100.0
高等学校本科	20,457	10,212	10,245	99.4	99.2	99.6
うち) 全日制	19,501	9,578	9,923	94.7	93.0	96.5
うち) 定時制	304	176	128	1.5	1.7	1.2
うち) 通信制	652	458	194	3.2	4.4	1.9
高等専門学校	24	21	3	0.1	0.2	0.0
盲・聾・養護学校 高等部本科	103	66	37	0.5	0.6	0.4

1-3 就職状況 — 就職率は男女ともに低下

就職者総数（就職進学、専修学校等入学者のうちの就職者を含む）は300人で、昨年度より53人減少し、就職率は1.4％で昨年度より0.2ポイント低下した。

男子の就職者総数は230人で昨年度より37人減少し、就職率は2.1％で0.3ポイント低下した。女子就職者も70人で16人の減少、就職率も0.7％で0.1ポイント低下した。

就職者を産業区別にみると、最も多いのは第2次産業の181人（就職者総数の60.3％）で、次に第3次産業の111人（同37.0％）となっている。[附表1-4、1-5、図1-4]

附表1-5 中学校卒業生の産業（3区分）別就職者数

産 業 （ 3 区 分 ）	実 数			構 成 比（％）		
	総 数	男	女	総 数	男	女
就 職 者 総 数	300	230	70	100.0	100.0	100.0
第 1 次 産 業	7	6	1	2.3	2.6	1.4
第 2 次 産 業	181	163	18	60.3	70.9	25.7
第 3 次 産 業	111	60	51	37.0	26.1	72.9
そ の 他	1	1	-	0.3	0.4	-

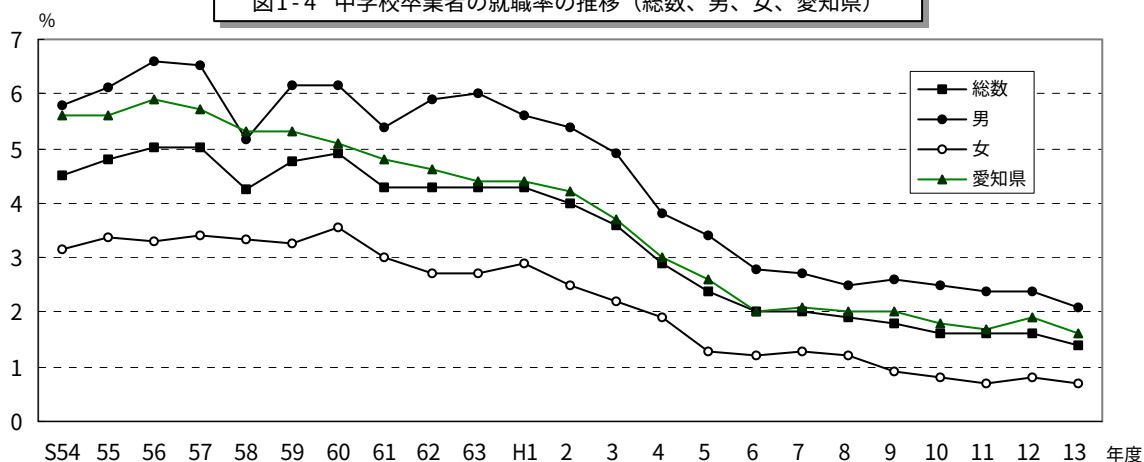
附表1-2 中学校卒業生の進学率の推移

年 度	名 古 屋 市			愛 知 県
	総 数	男	女	
昭和54年	93.5	92.6	94.4	92.2
55	92.4	91.2	93.6	91.9
56	92.2	90.5	94.1	91.5
57	91.0	88.8	93.3	90.9
58	91.3	89.6	93.2	91.2
59	91.3	89.0	93.6	91.1
60	90.3	88.4	92.2	90.6
61	89.9	87.7	92.3	90.1
62	91.0	88.7	93.3	90.7
63	90.9	88.8	93.1	91.1
平成元年	91.9	90.3	93.6	91.8
2	94.2	92.8	95.7	93.1
3	95.5	94.1	96.9	94.8
4	96.0	94.9	97.2	95.7
5	96.3	95.2	97.4	96.0
6	96.6	95.8	97.5	96.4
7	96.6	95.6	97.6	96.5
8	96.5	95.8	97.4	96.4
9	96.6	95.7	97.5	96.5
10	96.4	95.6	97.3	96.1
11	95.8	94.8	96.8	96.0
12	96.1	95.2	97.1	95.9
13	96.2	95.6	96.9	95.8

附表1-4 中学校卒業生の就職率の推移

年 度	名 古 屋 市			愛 知 県
	総 数	男	女	
昭和54年	4.5	5.8	3.1	5.6
55	4.8	6.1	3.4	5.6
56	5.0	6.6	3.3	5.9
57	5.0	6.5	3.4	5.7
58	4.3	5.2	3.3	5.3
59	4.8	6.2	3.2	5.3
60	4.9	6.2	3.6	5.1
61	4.3	5.4	3.0	4.8
62	4.3	5.9	2.7	4.6
63	4.3	6.0	2.7	4.4
平成元年	4.3	5.6	2.9	4.4
2	4.0	5.4	2.5	4.2
3	3.6	4.9	2.2	3.7
4	2.9	3.8	1.9	3.0
5	2.4	3.4	1.3	2.6
6	2.0	2.8	1.2	2.0
7	2.0	2.7	1.3	2.1
8	1.9	2.5	1.2	2.0
9	1.8	2.6	0.9	2.0
10	1.6	2.5	0.8	1.8
11	1.6	2.4	0.7	1.7
12	1.6	2.4	0.8	1.9
13	1.4	2.1	0.7	1.6

図1-4 中学校卒業生の就職率の推移（総数、男、女、愛知県）



II-1 高等学校卒業生数は23,178人で10年ぶりに増加、昨年度比では2.7%増

平成13年度に名古屋市内の高等学校を卒業した者は23,178人で、昨年度と比べて611人2.7%の増加となっている。高等学校卒業生は平成3年度の33,545人をピークに毎年減少し続けてきたが、本年度は10年ぶりの増加となった。しかし、その人数はピーク時の69.1%まで縮小している。

これを男女別にみると、男子は11,048人で昨年度比506人、4.8%増加し、女子は12,130人で同105人、0.9%の増加となっている。〔附表2-1、図2-1、第2表〕

卒業者を進路別にみると、大学・短期大学等への進学者が11,932人（構成比51.5%）で最も多く、次いで専修学校等入学者（就職者を含む）が5,630人（同24.3%）、就職者（就職進学者及び専修学校入学者を含まない）が3,529人（同15.2%）、上記以外の者が2,087人（同9.0%）となっている。

卒業後の進路について10年前と比較すると、（平成3年度）進学者の割合は38.4%から51.5%へ大きく増加する一方、就職者の割合は30.3%から15.2%に半減しているのが大きな特徴である。また上記以外の者は実数でも構成比でも増加している。〔図2-2〕

附表2-1 高等学校卒業生数の推移

年 度	総 数	男	女
昭和 54 年	30,573	15,823	14,750
55	29,638	15,074	14,564
56	30,054	15,127	14,927
57	30,480	15,387	15,093
58	30,032	15,327	14,705
59	26,854	13,675	13,179
60	31,318	15,796	15,522
61	32,392	16,411	15,981
62	31,480	15,486	15,994
63	31,788	15,749	16,039
平成 元 年	32,595	16,077	16,518
2	33,142	15,922	17,220
3	33,545	16,202	17,343
4	32,041	15,238	16,803
5	30,153	14,321	15,832
6	28,764	13,446	15,318
7	27,245	12,628	14,617
8	26,420	12,202	14,218
9	24,788	11,541	13,247
10	23,888	11,325	12,563
11	22,874	10,691	12,183
12	22,567	10,542	12,025
13	23,178	11,048	12,130

図2-2 高等学校卒業生の進路別割合

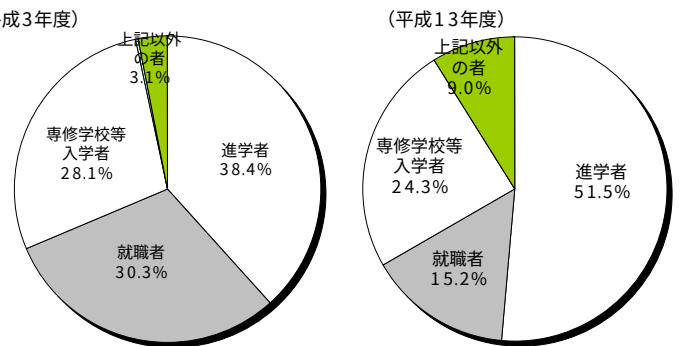
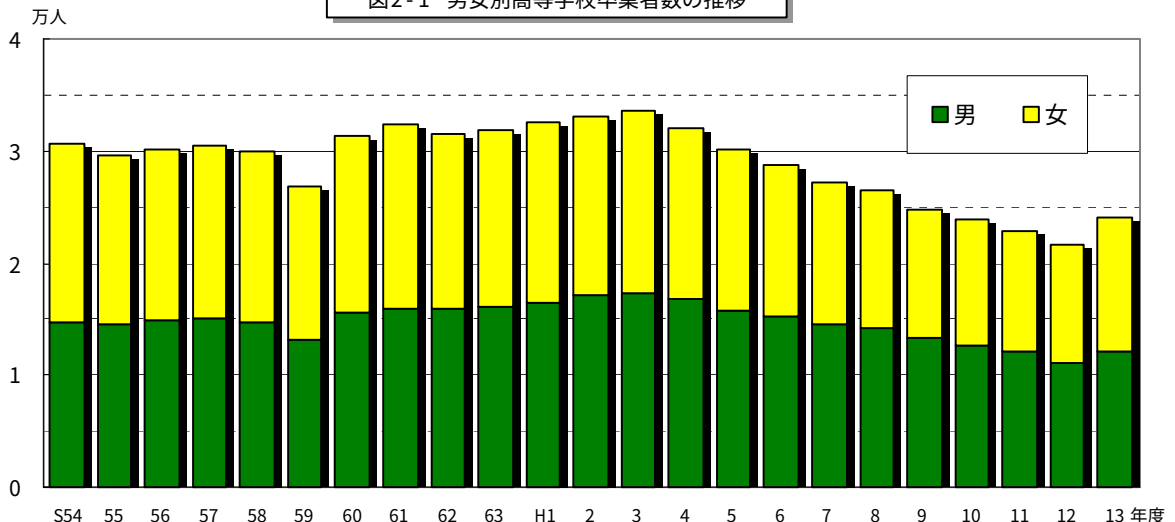


図2-1 男女別高等学校卒業生数の推移



II-2 進学入学状況 — 現役の進学率は昨年度と同じ 51.5%、男女進学率の較差が縮小

進学率は 51.5% で昨年度と同じとなっている。進学率は平成元年度から連続して 11 年間上昇してきたが、昨年度は 1.1 ポイント低下し、今年度は横ばいである。

男女別では男子 48.4%、女子 54.3% で進学率の男女較差は昨年度に比べやや縮小している。

参考までに愛知県は 51.9% で昨年度比 0.5 ポイント低下、男女別では男子が 51.1%、女子が 52.7% となっている。全国は 44.8% で同 0.3 ポイントの低下、男女別では男子 42.8%、女子が 46.9% となっている。

[附表 2-2、図 2-3、第 2 表]

次に進学先をみると、大学（学部）への進学者数は 10,274 人で総数の 86.1% を占めている。男女別では、男子の 97.5%、女子の 76.8% が大学（学部）進学者となっている。

短期大学（本科）への進学者は 1,657 人で進学者のうちの 13.9% となっており、女子が大半である。

[附表 2-3]

また、専修学校等の入学者をみると 5,630 人で昨年度と比べて 29 人、0.5% の減少となっている。うち男子は 3,029 人、女子は 2,601 人である。

専修学校入学者数をここ 10 年でみると、徐々に減少する傾向にあるが、特に男子の減少が著しい。

附表 2-2 高等学校卒業者の進学率の推移

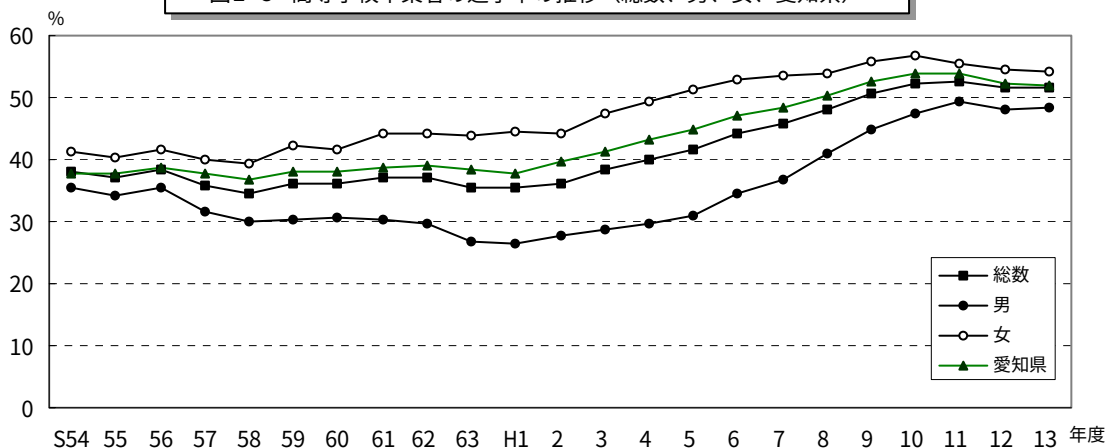
年 度	名 古 屋 市			愛 知 県
	総 数	男	女	
昭和 54 年	38.2	35.5	41.2	37.7
55	37.2	34.2	40.2	37.7
56	38.5	35.4	41.6	38.6
57	35.8	31.7	39.9	37.6
58	34.5	29.9	39.2	36.9
59	36.3	30.4	42.3	38.2
60	36.0	30.5	41.7	38.2
61	37.1	30.3	44.1	38.8
62	37.0	29.6	44.1	38.9
63	35.4	26.9	43.8	38.3
平成 元 年	35.5	26.4	44.4	37.9
2	36.3	27.6	44.3	39.8
3	38.4	28.8	47.4	41.4
4	39.9	29.5	49.3	43.3
5	41.7	31.0	51.3	44.8
6	44.2	34.4	52.9	47.1
7	45.7	36.7	53.5	48.5
8	48.0	41.1	53.8	50.2
9	50.8	44.9	55.9	52.5
10	52.4	47.4	56.8	53.9
11	52.6	49.4	55.5	53.8
12	51.5	48.2	54.4	52.4
13	51.5	48.4	54.3	51.9

附表 2-3 進学先別進学者数（H13 年度高等学校卒業者）

区 分	実 数			構 成 比 (%)		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総数	11,932	5,343	6,589	100.0	100.0	100.0
大学（学部）	10,274	5,211	5,063	86.1	97.5	76.8
短期大学（本科）	1,657	131	1,526	13.9	2.5	23.2
大学・短期大学の通信教育部及び放送大学	-	-	-	-	-	-
大学・短期大学の別科	-	-	-	-	-	-
高等学校の専攻科	1	1	-	0.0	0.0	-
盲・聾・養護学校高等部専攻科	-	-	-	-	-	-

[図 2-4、第 2 表]

図 2-3 高等学校卒業者の進学率の推移（総数、男、女、愛知県）



II-3 就職状況 — 就職者総数は昨年度比 164 人減

就職者総数は 3,539 人で昨年度より 164 人、4.4%の減少となっており、10 年前の約 3 割の人数にまで減少している。 [第3表]

就職率（就職者総数÷卒業者総数×100）は 15.3%で昨年度より 1.1 ポイント低下している。これを男女別でみると、男子の就職者総数は 1,825 人で昨年度比 20 人、1.1%の減少、男子就職率は 16.5%で昨年度より 1.0 ポイント低下している。女子の就職者総数は 1,714 人で同 144 人、7.8%の減少、女子就職率は 14.1%で同 1.4 ポイント低下している。

就職者を業種別にみると、製造業 1,356 人（構成比 38.3%）、卸売・小売業、飲食店 768 人（同 21.7%）、サービス業 657 人（同 18.6%）の順となっている。

[附表 2-4、図 2-5、第3表]

附表2-4 高等学校卒業者の就職率の推移

年 度	名 古 屋 市			愛 知 県
	総 数	男	女	
昭和 54 年	38.5	36.3	40.8	41.3
55	39.7	36.9	42.6	41.9
56	38.6	35.8	41.6	41.0
57	38.1	36.1	40.3	39.4
58	38.0	36.0	40.1	39.2
59	37.7	36.3	39.2	39.5
60	37.5	36.1	38.8	38.3
61	34.1	32.7	35.5	35.8
62	33.7	32.2	35.2	34.8
63	32.4	30.6	34.3	34.0
平成 元 年	31.8	30.4	33.1	33.4
2	32.4	31.0	33.7	32.5
3	30.5	30.6	30.5	31.3
4	27.8	27.2	28.4	28.6
5	25.0	25.4	24.7	25.7
6	22.5	23.1	22.0	23.6
7	20.6	21.8	19.6	22.3
8	20.1	21.1	19.3	21.5
9	19.6	20.4	18.8	21.3
10	18.0	19.2	16.9	19.3
11	16.2	17.7	15.0	18.3
12	16.4	17.5	15.5	18.1
13	15.3	16.5	14.1	17.4

図 2-4 高等学校卒業者の専修学校等入学率の推移（総数、男、女、愛知県）

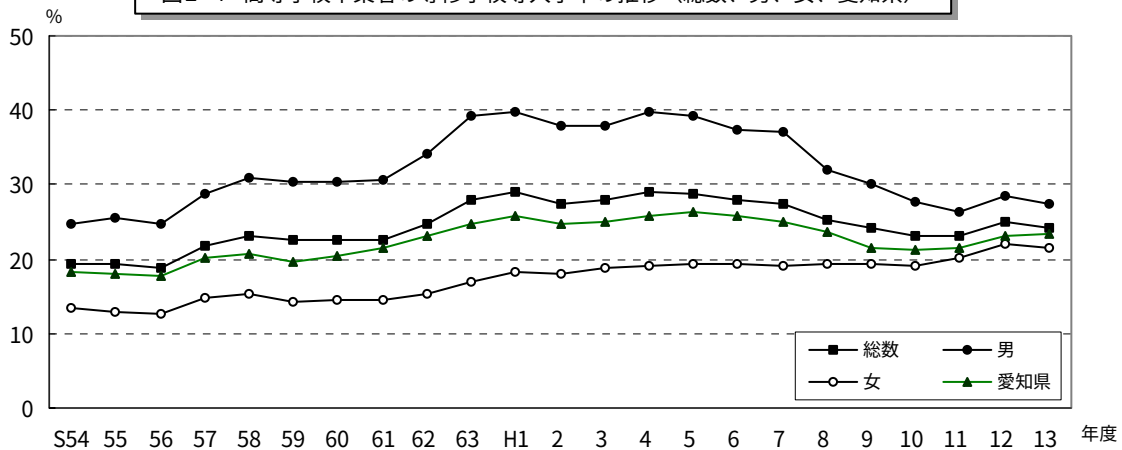


図 2-5 高等学校卒業者の就職率の推移（総数、男、女、愛知県）

